

我が国の活断層の分布

現在、政府の地震調査研究推進本部において、
主要な 9 8 断層帯について活動度を評価。

<活断層評価の例>

糸魚川 - 静岡構造線断層帯

(図の 41 番、42 番、44 番)

- ・松本市の牛伏寺断層を含む区間では、約 1000 年間で大地震を起こす。
- ・牛伏寺断層を含む区間では、今後数百年以内にマグニチュード 8 程度の規模の地震が発生する可能性が高い。今後 30 年以内に発生する確率は 14%。
- ・地震発生時のずれの量は場所によって異なるが、「中部」においては 6 ~ 9 m となる場所もある。
- ・震度の試算では、松本 7、穂高 6 強、安曇 5 強となる可能性が高い。

